

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集／東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,300円
(1,182円+税10%)※部数により変動
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
さまざまな行事の様子を
公開しています。



東本願寺NEWS

検索

同朋新聞

Dōbō Shimbun

4

Vol. 809
April 2025

京都マラソンにチャリティーランナーとして

今月の写真



真宗大谷派宗務所 職員
かい ゆうじ
海 雄二さん

光華女子学園 職員
おかむら ゆい
岡村 優依さん

「Donald・マクドナルド・ハウス
京都」の開設に向け募金活動が
おこなわれています。

詳しくはこちら▶



僕の舌動かすのは何や

今月の法話 如是我聞

によぜがもん

大阪教区第2組 即應寺

藤井 善隆(81)

かつて東井義雄師がNHKテレビ「こころの時代」で、5歳の保育園児のつぶやきとして紹介された言葉がよく思い起こされる。

「僕の舌動け」というたときは

もう動いたあとや 僕より先に

僕の舌動かすのは何や

5歳のお子、自分が生きている存在の根底のはたらきを感じているのである。お念仏のご縁の中で育たれたのか、自分の思い以前に自分を動かしている不思議に問いを立てる、柔らかに新鮮な生命感覚に驚かされる。

こんな小さな子が、いや小さい子だからこそ素直に身体で「不思議」を感じ取るのか。

親鸞様は、阿弥陀仏は「自然のはたらきを私たちに知らせるご方便」とおっしゃって、「自然というは、もとよりしからしむるということばなり」と。私の外に見る自然現象でなく、私を生かしている生命根源のおはたらきと。

人間はその命を私有化し自我が芽生えると、元のいのちを忘れて専ら自我が描く夢の実現に生きる。でも身体は決して忘れない。

「私より先に心臓を動かしているのは何や」

「私をかく在らしめているのは何や」

この身に自然力(じねんりき)はいつも問いかけている。

宗派では、入院中の子どもに付き添うご家族が、安心して休息できる滞在施設「Donald・マクドナルド・ハウス京都」の整備を進める京都府公立大学法人に対し、京都市上京区に所有する土地を無償貸与する計画を進めています。地元京都の開設募金委員会が取り組んでいる活動を応援するため、京都マラソン2025に宗派関係者が、チャリティーランナーの一員として出場しました。当日は、参加者約16,000人の中、二人ともゴールまで無事に走り切ることができました。

※東井義雄…1912年～1991年。浄土真宗本願寺派の僧侶。「いのちの教育」の探求に尽くした教育者。

真宗本廟

開門・閉門時間
5:50～17:30
主な法要・行事
4月1日～5日
4月15日 春の法要
立教開宗記念法要

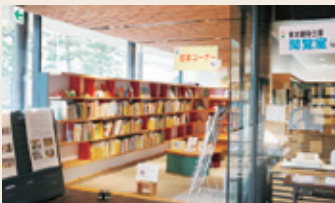


Pick up

一般参拝案内【無料】 毎日2回(9:30・15:00)
職員が御影堂と阿彌陀堂をご案内します。
※都合により、休止日もあります。

しんらん交流館

開館時間
9:00～17:00
休館日
毎週火曜日



Pick up

絵本コーナー
畳敷きのコーナーでゆっくりと絵本に親しむことができます。※貸出可能(16:30まで)

しょうせいえん 渉成園

開園時間
9:00～17:00
(受付は16:30まで)
庭園維持寄付金
大人 700円以上/
中高生 300円以上/
小学生以下 無料



今月の見どころ

ソメイヨシノをはじめ、
さまざまな種類の桜を
楽しめます♪

インフォ
information
真宗大谷派
ホームページ



令和6年能登半島地震で被害に遭われました被災者の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます

この紙面では、さまざまな人をおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思います。

人間といういのちの相

連載



「歌」によって伝わる人のところ

インタビュー
上野誠さん

歌を聴いた時に、歌詞や歌い手の感情に胸を打たれたり、当時の思い出がよみがえってくることはないでしょうか。私たち真宗門徒が親しむ歌には宗祖親鸞聖人が著された『浄土和讃』『高僧和讃』『正像末和讃』があります。毎日6首ずつ読み詠うことを毎日の勤めとして伝えられてきました。歌をおして伝わるものはいったいなんなのでしょうか。日本に現存する最古の歌集である『万葉集』を研究されている上野誠さんのお話から人間の相を考えます。



1960年、福岡生まれ。國學院大学大学院文学研究科博士課程満期退学。博士（文学）。國學院大学文学部教授（特別専任）。奈良大学名誉教授。万葉文化論の立場から、歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提案している。

「歌」の持つ力

——上野さんが『万葉集』を研究され、たぎっけはなんだったのでしょうか。

私の家は、福岡市博多にある零細な洋品店でしたが、福岡は俳句をたしなむ人がとても多く、母親も九州では有名な俳人で、親戚にも俳人が多くいました。そしてまた、歴史が好きだったので、歴史の研究者になったかたのですが、大学入試で史学科に合格できず、日本文学科に行くことになりました。

なぜ日本文学科に進んだかというと、日本文学は広く言えば、人のこころの歴史を探究するからです。私が研究対象としている『万葉集』は、8世紀の半ばにできますが、4、5、16首もの歌が20巻にわけられて収載されている、非常に大きな書物です。そして、おおよそ7世紀後半から8世紀半ばまでの間に生きていた

人たこのころに触れられる、こころの文化財なのです。そう思ってこれまで研究を続けてきました。

——「歌」とは私たちにとってどういう存在なのでしょう。

私たち人類の歴史の中で重要な出来事は、火を使えるようになったことなんです。火を使えるようになることで、他の動物から襲われなくなり、火を囲んで集団で生活することによって、言語が発達します。また、火を使うことによって、従来食料でなかったものが食料になりました。これは人類史の中で大きな出来事でした。そこから、音楽も発展します。つまり、「歌」とは、人間に備わっている一つの能力であると考えることができます。例えば、私たちは外国語の歌を聴いても、



意味はわからないけれども、感情は伝わるということがありますよね。人は、言葉と音楽で感情を伝える動物なのです。

——人は歌をおしてコミュニケーションをより親密にしていたのでしょうか。歌だからこそ伝わる世界というものもあるのでしょうか。

そうですね。宗教を例にとると、お堂の中で声明に触れるということも宗教に接する方法ですよ。親鸞聖人が書かれた和讃も、実際の言葉、音声で触れることができます。親鸞聖人は、言葉を残さ

言葉だけでは伝わらないもの

それは言語化ということですね。例えば「歯が痛いんだ」というふうに私が言っただけでも、その順番は崩れていて、最後は死、これは当たり前かもしれないけれど、相聞の前に雑歌があるんです。それは日常の中にしか恋もなければ死もないという。日常を抜きにしては考えられないということを表しているのでしょうか。偉大な哲学だと思えます。

私は、歌を特別なものではなく、人間の営みの一つとしてとらえています。そして、全ての営みにおいて、優先して存在するものは日常生活ではない。日常の中に宗教があつて、芸術があつて、そして歌があるのだと思います。真宗門徒の皆さんには、この歌の哲学と和讃を大切にしたいと、切に願っております。

にこだわります。例えば『古事記』の先生が講義をする時に、「天地初めて発くる時、高天原に成りし神の名は」と『古事記』の内容を声に出した瞬間に、全てが表れるような気がするのです。

——音声化された歌というものを大事にしてきた歴史があるのです。

奈良時代の歌人山部赤人は「富士の歌」に「語り継ぎ 言い継ぎ行かむ 富士の高嶺は」と歌っています。つまり、どんなに素晴らしいものも、語り継ぎ、言い継いでいかなければ、それはその時代に生命を持つことはできないということなんです。だからやはり、語り継ぎ、言い継ぐことで今の時代にそのころが生きているのであつて、語り継ぎ、言い継ぐという実践が大切なのです。

日本の仏教の祖でもある聖徳太子の歌は、いろいろと歌い継がれています。『日本書紀』にあつた歌が広まつて、そこから形が変わったものがまた『万葉集』にも入っているのです。それは非常に重要なことで、歌にしかない力というものがあつて、人々の生活の中で歌い継がれてくる



聖徳太子

またヨーロッパなどでは移民政策が進んでいて、多様な言語の話者がいるので教会に行くと、時間帯によってさまざまな言語でミサが行われています。やはり自分の国の言葉で祈りを捧げ、歌を歌うことで初めてこころに響くものもあるのだと思います。

つまり、親鸞聖人の和讃を詠うことは、親鸞さんのこころがそこでよみがえると思ってもらわれないといけないですよ。声に出すことが大切なのです。

古代から変わらない人のところ

——上野さんは、『万葉集』には素朴でおおらかな歌だけが集められているわけではないとおっしゃっていますが、

『万葉集』をおしてどういったこころが見えてきますか。

万葉集は極めて複雑な技巧を持ってい

上野さんの最新刊

響きの言葉から心の世界を読み解く、新しい入門書。

角川選書
角川選書ビギナーズ

『感じる万葉集
雨はシクシクと降っていた』
上野誠 著
定価：1,595円（税込）
KADOKAWA 刊

上野 誠
感じる万葉集
雨はシクシクと降っていた



同朋の会での座談会の様子

岐阜県の南東部にある第12組は門徒の方とともに活発な教化活動をおこなっており、推進員の養成にも力を入れている。鈴村 暁子



通信員リレーレポート

第257回
いまを生きる



日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会を紹介しています。

『今、いのちがあなたを生きている』

から続く聞法への歩み

岐阜高山教区 第12組
霊仙寺門徒
鈴村 暁子さん(76歳)

さんも、願われて推進員養成講座に参加された一人だ。

暁子さんが真宗と深い関わりを持つようになったのは、今から18年ほど前のこと。仕事を辞めて時間的に余裕ができ、推進員養成講座の誘いを受けたのがきっかけ。それまでは仕事と家事に明け暮れて、忙しい日々を過ごし、お寺は先祖の供養の場でお葬式や法事の時にお世話になるところという認識で、関心を持っていなかった。しかし、講座に参加するうちに「仏教は今を生きる私たちが、どう生きていけばいいのかを考えさせてくれる教えではないか」と思い始めたそう。身の回りでも、心配事は絶えずあり、毎日心を痛めるニュースが

流れ、生きづらさを感じる時代の中で「私だけでなく、誰もが悩み、迷い、心の拠り所を求めている。こんな時代に生きている私たちにとって仏教は大切な心の拠り所になるのではないか?」。そんな思いを抱いた暁子さんは、講座が修了した後、組やお寺の法話会などに時間の許す限り参加しておられる。「わからないこともたくさんあるけれど、お話を聞き続けることで、不思議と心にストンと落ちることもあり、そんな時はうれしくて元気になれる」と語られる。

17年前、本山での後期講習の折に見た宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌テーマ『今、いのちがあなたを生きている』が、よく理解できずにいたそうだが、長い時間が経ち、やつとこの頃ばやりとつかめる気がしてきたと語る。「長い時の流れの中で、たくさん先の先祖が「いのちをつないでくれて今の私がある。スケールの大きな宇宙時間で考える言葉。この貴重な私の人生を、大切に生きなければという思いを強く持たせてくれる言葉ですね」と受け取られている。

「講座に参加して18年もたちますが、まだまだこれからという気持ちです。これからも法話会に参加して、「私のいのちを一生懸命生きていこうと思います」。

確かに「いのちが生きる」ことを受け取られ、暁子さんは、歩み続ける。

岐阜高山教区通信員

河合 文



お寺の掲示板

第20回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



栄恩寺(新潟教区 高田13組)
新潟県上越市頸城区百間町669-1
住職 宮本 亮二

み仏を呼ぶわが声は
み仏のわれを喚びます
み声なりけり

「呼ぶ」は自分が声を出すこと。「喚ぶ」は、法要が始まることを知らせる喚鐘のような、阿弥陀仏からの呼びかけ(招喚)です。私たちが南無阿弥陀仏と称える声は、同時に、阿弥陀仏が私たちに換ひかけておられることを表しています。そのことを皆さんに考えていただけたらと思います。甲斐和里子さんの言葉を参考にしました。

雪が降る中、榮恩寺に取材に伺った。榮恩寺の掲示板は、道に面する鐘楼門にある。蓮如上人五百回御遠忌法要にあわせた本堂の改修の際、寺の世話人の方が製作され、それ以来、月に一度は掲示板に載せる言葉を更新するようにしているそう。

住職は、「掲示板には、あまり難しすぎず、興味を持ってもらえるきっかけになるものを選ぶよう心掛けています。詩集や絵本からの言葉を紹介することもあり、印刷されたものではなく、親しみをもってもらえるように自分で手書きすることも多い」と語られた。

境内には樹齢四百年の枝垂桜があり、地域でも有名だ。「春になれば満開の桜を見に訪れる方がいるが、寺に足を運んでもらえるきっかけとしては掲示板も同じ役割を持っている」と思っている。時々門徒の方や観光客が立ち止まって掲示板を眺めているそう。

現代はインターネットで何も考えずとも答えが出てしまう時代だが、ふつと掲示された言葉を見て「何だろう?」と疑問を持つこそ、掲示板の意義ではないだろうか。

春には満開の枝垂桜が咲くことだろう。またお寺を訪れたい。

新潟教区通信員

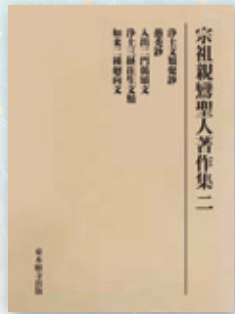
二所宮 岳

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念

宗祖親鸞聖人 著作集 二

『真宗聖典 第二版』収録の宗祖漢文著作の翻刻を掲載。

聖教編纂室 編
A5判 286頁 箱付き
定価:4,400円(税込)



『仏教がみちびく、あらたな人生』

月刊『同朋』4月号

特集 縄文にドキドキ

A4判・オールカラー／60頁

定価:400円(税込・送料別)／年間購読:4,200円(税込・送料別)

真宗聖典 第二版

大判／定価:4,950円(税込)

小判／定価:4,400円(税込)

好評
発売中



オープンキャンパス

4/27日 Realな大学生活にふれよう!

5/18日

6/15日

ご家族での参加も大歓迎です

詳細・事前申込はこちら



お問い合わせ：入学センター
〒603-8143 京都市北区小山上総町
TEL: 075-411-8114(直通)

Be Real
寄りそう知性

大谷大学

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。道綽について、3回にわたってたずねています。



ひかりを 云へたひと

七高僧と聖徳太子

第16回

道綽禅師

三

一形悪をつくれども

専精にこころを

かけしめて

つねに念仏

せしむれば

諸障自然に

のぞこりぬ

〔高僧和讃〕

『真宗聖典 第二版』五九七頁

〔現代語訳〕

生まれてから死ぬまで悪をなしているのだけれども
専ら精いっぱい心に掛けて
つねに念仏するようにと願われて
いるので
さまざまな障りも自然に除かれて
しまったのだ。

罪惡深重

道綽禅師は、私たちが生きている世界は末法であると言いました。末法に生きているとはどういうことでしょうか。それは、一形(生まれてから死ぬまで)悪を作っていないかなくてはならないことだと言います。そのため、親鸞聖人は私たちのことを「罪惡深重」(歎異抄)第一条「真宗聖典 第二版」七六七頁と捉えます。ところが、自分はそれほど悪い存在ではないと感じている人が多いのではないかと思います。自分が善いことをしているとまでは言わずとも、周囲を見回して自分はそのなにも悪くはないとの「思い」を抱きがちです。仏教では、これは、極めて危うい状態だとされます。

慢

それというのも、この「思い」は、自分の行為そのものを丁寧に確認したものではないからです。ただ、何となく、他者と比較してそのように思い込んでいるに過ぎません。たとえば適切ではない行為をしてしまったとしても、「そんなつもりではなかった」、「この程度のこととを大げさに非難するのがおかしい」、「もっと悪い人がいる」などと、いくらでも言い訳が出てきます。この「思い」を「慢」といいます。「思ひ上がり」ということです。必要以上に謙遜するのも、ありのままに自らを見たいという点で、慢とされます。この慢をうち破るのはたやすいことではありません。ましてや、末法の世ではかなり難しいことです。

しかしながら、念仏を称えることは、末法であっても行ずることが出来ます。それは、阿弥陀仏の勧めがあるからです。

小豆念仏

道綽禅師は、人びとに次のような方法を提案しました。念仏をひとたび称えるごとに袋の中から小豆を一つ取りだし、念仏を数えるように勧めたのです。木の実を糸でつなぎ、その実を繰ることで念仏を数えることも教えたと言っています。現在の念珠が「数珠」とも呼ばれるのはそのためです。

これは、念仏の数を競わせたものではありません。ものを数えるとき、自然とその対象に集中します。小豆を袋から取り出す動作を伴えば、その効果はさらに増します。専ら念仏に集中することができるようにとの配慮でした。

ただ念仏のみに集中している状況では、慢もなければ悪をなすこともありません。念仏を称えることが、阿弥陀仏の願いに応じたことだからです。念仏が湧き出ている状況では、さまざまな障壁も自然と除かれてしまっています。道綽禅師は、この念仏という行為に、末法の世にふさわしいひかりを見いだしたのでした。



わけみ あきら
采翠 晃

大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職





世のなか安穩なれ

—非戦・平和への願い—

毎年4月2日、真宗本

廟で勤まる「春の法要」の

中で、「全戦没者追弔法

会」が勤修されます。この

法会は、鎮魂・慰霊の儀式

ではありません。戦争で

命を奪われた全ての人び

との悲しみと痛みを聞き、

その声に報いる法要です。

それは、日本の軍人や民

間人といった被害の面

みならず、日本の犠牲と

なったアジア諸国をはじ

めとした諸外国の人びと

も含まれます。戦争とい

う人間の罪業を暴き出

すような痛ましい現実

に向き合う時、私たちは全

戦没者の願いに背く生き

方をしてはいないかを省

みるのが大切です。

2025年は戦後80年

を迎えます。世界ではウ

クライナやガザが戦地と

なっています。さらに、日

本においても基地問題で

沖縄が置かれている現状

等がある今、私たちの足

元を確かめていきます。



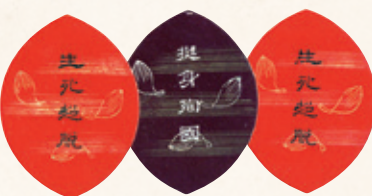
真宗本廟で行われた学徒出陣の壮行式

私たちは、言語に絶する惨禍^{さんか}をもたらした先の戦争によって、沖縄をはじめ、アジア諸国、とりわけ中国、朝鮮半島の人々に多大な被害を与えてきたことを決して忘れてはなりません。

そして、宗門も、親鸞聖人の仰せになきことを仰せとして戦争に協力し、仏法の名のもとに、多くのご門徒や僧侶、学生までも戦場に送り出し、戦没者をはじめ、残された遺族にも、計り知れない苦痛と悲しみを強いてきました。

さらには、戦争の激流の最中に非戦を唱え、非国民とされた僧侶たちを見捨ててきました。その罪責を慚愧^{ざんき}する教団として、自らに使命を負う責任があります。

太平洋戦争開戦時に製作された葩^{はなびら}



仰せになきことを
仰せとして



御影堂門に立てられた
「挺身殉国」の看板



非戦・平和沖縄研修会

戦争の歴史が明らかにされる中で、私たちは戦争の被害者であるとともに、一方では加害者としての歴史も問われてきました。「正義」のもとにどのような行動をも起こしてしまうのが私たち「人間」です。だからこそ、なぜ戦争が起きるのか。どのような社会構造が戦争を引き起こしたのか。過ちを今に問いなおし、未来に伝え残していくことが大切です。

宗門は、戦後50年となる1995年に「不戦決議」、戦後70年に「非戦決議2015」を表明しました。その中では、人間である事実を背負いながらも、なお「惨事を未然に防止する努力を惜しまない」ということが受け継がれています。また、近年の世界情勢の中で「非戦決議2022」も表明しました。

民族・言語・文化・宗教の相違を越えて、戦争を許さない、豊かで平和な国際社会の建設にむけて、かつて親鸞聖人が呼びかけられた安穩なる世を、今の私たちの社会の中で問い続けたいと思います。

未然に防止する
努力を惜しまない



詳細や各決議文は



こちらから



非戦を唱えた僧侶の顕彰^{けんしょう}



非戦平和展



2022年全戦没者追弔法会シンポジウム

コーナン商事株式会社と「災害時における物資の供給に関する協定書」を締結

1月28日、災害発生時に被災地の多様なニーズに迅速に対応し、被災者支援の強化を図ることを目的として、全国に約600店舗を展開し、品数を豊富に揃えるコーナン商事株式会社と協定書を締結した。

宗派では、災害発生時に被災者支援の一環として、必要に応じて被災地へ宗務役員を派遣している。令和6年能登半島地震が発生した際にも、地震発生の日後から宗務役員を派遣し、必要な物資の確保と供給に努めてきたが、被災地の状況や物資のニーズは刻々と変化し、適切な物資を迅速に確保することが課題となっていた。

このたびの協定締結により、災害発生時には宗派からの要請に応じて、コーナン商事株式会社から被災者支援に必要な物資を優先的に供給いただくことが可能となる。これにより、物資の調達により円滑になり、迅速かつ適切な支援を行う体制が整うことが期待される。



木越内局一部交代
— 参務に轡田普善氏、山田孝彦氏が就任 —

2月27日付、木越内局(木越渉宗務総長)の一部交代があり、那須信純参務、西受秀文参務が退任し、新たに轡田普善氏、山田孝彦氏が参務に就任した。新たな内局の顔ぶれは次のとおり。

前列左より

古賀賢志参務【九州教区浄泉寺】
木越渉宗務総長【金沢教区光専寺】
長峯顕教参務【九州教区西福寺】【財務長】

後列左より

轡田普善参務【富山教区照善寺】【儀式指導研究所長・首都圏教化推進本部長】
佐々木高参務【能登教区長福寺】【行政改革推進本部長】
山田孝彦参務【福井教区唯稱寺】【解放運動推進本部長・青少年センター長】

教学研究所長に織田顕祐氏が就任

2024年12月31日付で宮下晴輝教学研究所長が退任したことに伴い、2月27日付で、織田顕祐氏(岡崎教区顯明寺)が教学研究所長に就任した。

教学研究所は、宗門における教学の研鑽や、現代社会に応える教化の推進に必要な調査研究をおこなう機関で、「真宗教化センター しんらん交流館」に設置されている。



【織田顕祐教学研究所長 略歴】
1954年、愛知県生まれ。大谷大学文学部仏教学科卒業、大谷大学大学院文学研究科博士課程仏教学専攻満期退学。博士(文学)。真宗大谷派嗣講。大谷大学名誉教授。専門は東アジア仏教思想史研究、中国日本華嚴教学研究、漢訳大乘經典研究。
主な著書に『親鸞聖人と聖徳太子』『2010年安居次講 大般涅槃經序説』『2023年安居次講『華嚴經』綱要』(東本願寺出版)、『華嚴教学成立論』『暮らしの中に仏教を見つける』(法蔵館)他。

レポート

「是旃陀羅問題
学習テキスト
講習会」開催

2月4日から6日にかけて、今年度からの「是旃陀羅」問題に関する新たな取り組みの一つとして、「是旃陀羅問題学習テキスト講習会」が真宗本廟で開催された。学習テキスト『御同朋を生きる』の編纂に携わった宮下晴輝前教学研究所長をはじめ、解放運動推進本部本部委員と教学研究所研究職が講義等を担当し、3日間の日程の中で『御同朋を生きる』を読みとおすことを基調とした。

受講者は、教区における取り組みを推進するスタッフをはじめ、教区・組における取り組みの中軸となる者が、前年度に「是旃陀羅」問題に関する説明会を開催した教区から選定され、教区駐在教導5人を含む25人が参加。章ごとに輪読・講義・全体座談が行われ、テキストが作成された経緯を踏まえた全体概要と、各章の要点を押さえ直し、本問題に関する学びを深めた。

この講習会での学びを受講者が各教区で共有することで、教区及び組における取り組みを推進し、さらなる全宗門的な課題共有につなげていく。なお本講習会は、3月・4月にも同内容での開催が予定されている。



お東さん
ガイド

蓮如上人御影道中
リアルタイム
位置情報公開



4月17日～23日(御下向)、5月2日～9日(御上洛)にかけて「蓮如上人御影道中」情報ポータルサイトにて御影道中一行のGPSによる位置情報を公開します。ぜひご覧ください。



「蓮如上人御影道中」ポータルサイト

検索

お知らせ

真宗大谷派
宗務役員(一般職)募集!

全国のたくさんの寺院、僧侶、門徒とともに教えを聞き、全世界に真宗の教えを届けていくため、このたび、真宗大谷派宗務役員として、諸事業に従事いただける方を募集いたします。詳細は下記「職員採用特設ページ」をご覧ください。

応募資格等、ご不明な点がありましたら、下記お問い合わせ先までお気軽にご相談ください。

採用時期

2026年4月1日付採用(試用期間あり)

応募資格

①高等学校卒業又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者
②真宗大谷派の僧侶又は門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)

お問い合わせ

真宗大谷派宗務所 総務部
宗務役員募集係
TEL:075-371-9272

真宗大谷派 採用

検索

職員採用特設ページ



読者のお便り

岐阜県養老郡 橋本 陽彩(8歳)

毎月お手次寺から届く『同朋新聞』。学校から帰って宿題をした後に、一生懸命解いてくれたそうです。



お便り募集

『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先

Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「同朋新聞編集係」

住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

逝去のお知らせ

あめのいちろう 飴野一郎／参議会議員、[小松大聖寺教区選出]金沢教区第4上組本誓寺門徒。
2025年1月30日逝去。84歳。2022年2月から2期にわたり参議会議員を務められた。

救援金を勧募しています

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座

郵便振替口座番号 00920-3-203053

加入者名

真宗大谷派

救援金総額

246,142,310円 (2025年2月28日現在)

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。



京扇子司
京扇堂

●本店●
京都市下京区東洞院通正面上的筒金町46
Tel.075-371-4151

東本願寺御用達
日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075)351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日：日曜日

定期刊行物および梱包配送料の価格改定のお知らせ



東本願寺出版
HIGASHI HONGANJI PUBLISHING

このたび、昨今の資材・運送費用の高騰に伴い、「真宗」・月刊『同朋』誌購読料、『同朋新聞』年間発送料および梱包配送料の価格を改定させていただくこととなりました。購読者各位におかれましては、何卒これらの諸事情をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

改定価格

1 『真宗』購読料

2025年7月号より
単号:250円(税別)
年間購読:3,000円(税別)

2 月刊『同朋』誌

2025年7月号より
単号:400円(税別)
年間購読:4,000円(税別)

3 『同朋新聞』年間発送料

年間購読者・個別発送申込寺院
※発送先1件あたりの金額です。
2025年7月号より

4 梱包配送料

2025年4月1日より
※日時指定をご希望の場合は、
現行通り1,000円(税別)の追加
送料をいただきます。

部数	年間発送料(税別)	購入合計金額(税抜)	金額(税別)
1~5	1,500円	0円~1,999円	400円
6~15	1,800円	2,000円 ~9,999円	800円
16~100	3,500円		
101~300	5,000円	10,000円以上	無料

御本尊は本山からお受けしましょう

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間／3月～10月:5時50分～17時30分
11月～2月:6時20分～16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時～

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分～／13時10分～
速夜日(12・27日) 13時10分～
御命日(28日) 9時30分～
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー

【時間】9時～16時
「非戦・平和展」(開催中～5月7日)
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

詳しくは →

東本願寺

検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、
ぜひお立ち寄りください。
開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日

4月の定例法話

【時間】毎日14時～(12日は10時～)
※休館日、4月1日～5日、27日は休会。その他、都合により休会する場合があります。

4月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分～11時
【講師】4月6日 名和 達宣氏(教学研究所所員)
4月13日 亀谷 亨氏(北海道教区即信寺前住職)
4月20日 藤元 雅文氏(大谷大学准教授)
4月27日 杉浦 道雄氏(名古屋教区称名寺住職)

交流ギャラリー

「お釈迦さまとその風景」展(開催中～4月7日)

詳しくは →

浄土真宗ドットインフォ

検索



2025年

真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

おみがき奉仕団

2泊 2025年 7月1日(火)～3日(木)
1泊 2025年 7月1日(火)～2日(水)

うらばんえ
盂蘭盆会を迎えるにあたって、
真宗本廟内の仏具のおみがき
を中心とした奉仕団です。

【参加費】
(2泊3日) 18,000円、米2kg
(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日) 13,000円、米1.2kg
(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・
お問い合わせ

同朋会館・研修部
TEL:075-371-9185

真宗本廟中学生・
高校生奉仕団

8月7日(木)～9日(土)

【講師】金石 潤導氏
(北海道教区開正寺住職)

【定員】30人

【対象】中学1年生から
高校3年生まで

【参加費】中学生9,000円／
高校生13,500円、米2kg
(1升4合)または米代1,300円

子ども奉仕団については『同朋新
聞』3月号7面をご確認ください。



入館中は仲間や
他団体の方々とカフェ
(無料)でほっこり♪

今月号の『同朋新聞』を読んで、
クロスワードパズルを完成させよう!

プレゼント付

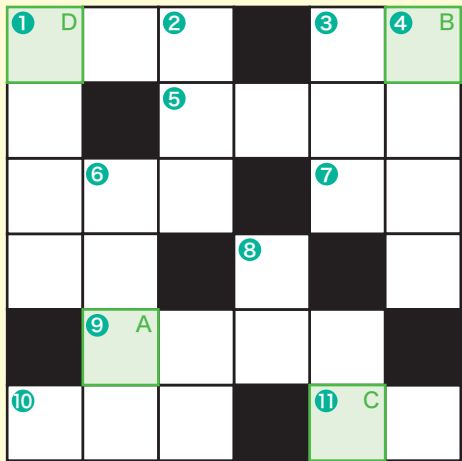
タテのカギ

- 「縁—お寺の掲示板—」今月の言葉は「〇〇〇〇を呼ぶわが声は み仏のわれを喚びます み声なりけり」です。(4面)
- 「ご案内」おみがき奉仕団は、盂蘭盆会を迎えるにあたって、真宗本廟内の〇〇〇のおみがきを中心とした奉仕団です。(8面)
- 毎年4月2日、真宗本廟で勤まる「〇〇〇〇う要」の中で、「全戦没者追弔法会」が厳修されます。(6面)
- 「縁—お寺の掲示板—」〇〇〇〇寺の境内には樹齢四百年の枝垂桜があります。(4面)
- 4月17日～23日(御下向)、5月2日～9日(御上洛)にかけて「蓮如上人御影〇〇中」情報ポータルサイトに御影〇〇中一行のGPSによる位置情報を公開します。(7面)

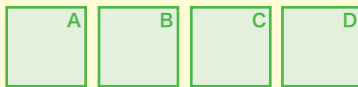
ヨコのカギ

- 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗慶讃テーマ「南無阿〇〇〇つ 人と生まれたことの意味をたずねていこう」(2・3面枠下)
- 京都マラソン2025にしゅ〇〇関係者が、チャリティーランナーの一員として出場しました。(1面)
- 「人間といういのちの相」今月のタイトルは「歌」によって〇〇〇〇人のこころです。(2・3面)
- 「今月の法話 如是我聞」今月のタイトルは「ぼ〇〇舌動かすのは何や」です。(1面)
- 「読者のお便り」今月の読者はクロスワードを〇〇〇〇んと一緒に解いてくださいました。(7面)
- 一形悪をつくれども 専精にこころをかけしめてつねに〇〇〇つせしむれば 諸障自然にのぞりぬ(5面)
- 上野誠さんは〇〇大学の名誉教授です。(2・3面)

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、
クロスワードパズルを完成させましょう! 4月号の
『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!



答え



※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

編集室だより

◆2・3面「人間といういのちの相」では、万葉集の研究をされている上野誠さんにお話を伺いました。その中で、古典の先生は音声化にこだわるといってお話をされています。私は、その話を聞いた時に高校時代の古典の先生を思い出しました。その先生も文章を音声化することをとても大切にされていて、必ず授業の始めに文章を全員で音読していました。古典を受験科目の一つとしかとらえていなかった当時の私には、なぜ毎回音読をしなければいけないのか理解できず苦しい時間だったのですが、今あらためて振り返ると、声に出すことでその言葉に表情がつき、感情や情景をとらえることで古典の文章と向き合う力になっていたのだと気づきました。試験のためという縛りが消えた今、もう一度古典の文章を味わってみようかなという意欲がわきました。 ◆1面下に涉成園の「今月のみどころ」を掲載しています。四季折々の花が咲く涉成園からの季節の便りを楽しんでいただければと思います。(玉井)

読者のこえ

1月号を読んで

◆能登教区報恩講が紹介されていたのでうれしかったです。(石川県60代)

◆能登節の伝承者である廣陵兼純氏の「節談説教」を一度聞いてみたいと思います。(岐阜県90代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは5月10日(土)(当日消印有効)です。

宛先

〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版
「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞4月号クロスワード応募」と入力の上higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。

応募はコチラ



〈ご注意〉 ◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。 ◆個人情報プレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。 ◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。 ◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。



小堀京仏具工房
—京都市山科区の仏壇仏具製作工房—

安永4年(1775年)創業



京 仏 具

小堀



本社ショールーム 〒600-8177 京都市下京区烏丸通五条下る大坂町396番地
☎ 075-341-4121 FAX 075-341-4128
東京ショールーム ☎ 03-3843-6961 FAX 03-3845-5343
札幌ショールーム ☎ 011-222-0155 FAX 011-222-0177
ショールーム営業時間／9:00～17:00(定休日:土日祝・お盆・年末年始)
小堀京仏具工房(京都工場)

東本願寺ホームページで『同朋新聞』がお読みいただけます

同朋新聞

検索